



こぐまぐみだより

2025年12月2日発行

社会福祉法人 尚徳福祉会

保育園与那原ベアーズ2

大きな行事を経験した子どもたちは、「先生！エイサーやりたい！」「エイサー流して（音楽）」などと伝え、「イヤーサーサー」の大きな掛け声とともにパーランクとバチを大きく振りあげ、体全体で沖縄の伝統文化を楽しんでいるこぐま組エイサー隊！元気いっぱいのエイサーから1日をスタートしています。寒暖の差が大きくなり「寒いね！」なんて言う会話が飛び交う季節がやってきましたが子どもたちの元気なパワーで寒さも吹き飛ばしながら園庭遊びや散歩などを楽しみ、この時期ならではの自然に触れる機会を多く体験できればと思います。



☆今月の保育のねらい☆



- ◎気温の変化や体調に留意し、健康的に過ごせるようにする。
- ◎保育者や友だちと言葉のやり取りや、ごっこ遊びなどを楽しむ。
- ◎この時期ならではの自然（虫や落ち葉・木の実）に触れながら楽しむ



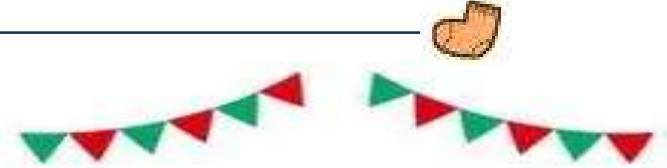
☆△横断歩道を渡ってみよう～☆△

✿ 心地よい季節となり、子どもたちが元気いっぱいに体を動かせるようになりました。これからは近くの 公園や公民館、消防署、与那原警察署 など、さまざまな場所へ出かけて、たくさんの経験や体験を積んでいきたいと考えています。 お出かけの際には横断歩道を渡る必要があります。そこで、幼児クラスのお兄さん・お姉さんに手伝ってもらいながら散歩を楽しみ、少しずつ「こぐま組さんだけでも安全に横断歩道を渡れる」ことを目指していきます。 横断歩道を渡れるようになると、子どもたちの行動範囲が広がり、さらに多くの場所で学びや体験を積むことができます。これからの成長を楽しみに見守っていただけれどと思います。



楽しんでみよう～

年の瀬が近づくと、家族で過ごす楽しいイベントが多くなります。普段できない経験や体験を生活の中で積み重ねる事で、子どもたちの大きな成長に繋がることだと思います。子どもたちは、「一人で出来るよ！」という気持ちがとても強く芽生え、いろいろなことに興味、関心を持ち取り組んでくれています。新年を迎えるにあたり年末の大掃除のお手伝いやお正月ならではの行事食を一緒に楽しんでみるのも良いかと思います。よいお年をお迎えくださいね！



自分で靴を履いてみよう

いろいろなことを自分でできるようになってきた子どもたちは、「自分で履けたよ」と得意げに見せてくれる姿が多く見られるようになり、日々成長を感じる毎日です。これからも園庭遊びやお散歩などを多く取り入れた活動を楽しみたいと思いますので子どもたちが安心して活動を楽しめるように、子どもたちの足になじんだ脱ぎ履きしやすいスニーカーでの登園をお願いします。



☆お願い・お知らせ☆

- ・寒暖の差が大きくなってきた、脱ぎ着しやすい羽織物の準備をお願いします。
- ・お着替えものを入れる袋が無くて困っていることがありますので準備をお願いします
- ・持ち物の名前（おさがり等も）薄くなっているのかの確認をお願いします。